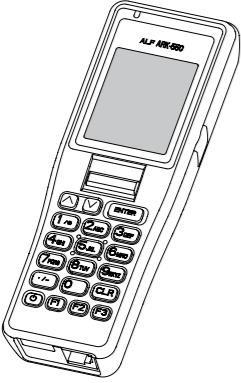


ユーザズガイド

ハンディターミナル

品番 ALFARK-550

ご使用前に必ずこのユーザズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



目次

記載内容に関するご注意	2	主電池の取り付け	9
運用に関するご注意	2	バッテリー（主電池）タイプの選択	10
電波障害自主規制について	2	副電池（リチウムボタン電池）の交換	11
安全上のご注意（必ずお読みください）	2	バーコードの読み取り方	12
使用上のご注意（必ずお守りください）	5	通信について	13
お手入れ	6	主な仕様	14
同梱品の確認	7	付録（モデムモジュールの取り外し）	16
各部と操作キーの名称、機能	7		

このたびはハンディターミナル（ALF ARK-550）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、同梱の説明書をよくお読みいただき、本機が十分な性能を発揮できますよう、正しい取り扱いをお願いいたします。

記載内容に関するご注意

- 本書では、ハンディターミナルをご使用になるうえでの、基本的な取り扱い方法について説明しております。日常業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。
- 本書では、本機のプロシージャ方法、ダウンロード方法などは記述していません。別紙資料などをご覧ください。
- 本書は間違いや誤記の無いように注意して編集しております。万一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめ、ご了承ください。
- 本書の内容に関しては改良などにより、将来予告なく変更することがあります。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。（For use in Japan only）本機は日本国内で使用する仕様となっており、海外の規格には準拠していません。よって、海外で使用された際は、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- お客様の運用に関して生じた結果につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 保存データの損失、故障、修理や電池交換の際のメモリ内容の変化、消失および本機仕様により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本ユーザズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意（必ずお読みください）

- ご使用前に必ず、安全上のご注意をお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示（記号）を使っています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危害・損害の程度とその表示

表示内容を無視して誤った取り扱いをするとき生じる危害の大きさや損害の程度を「警告」「注意」の2つに区分けしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

- △記号は『注意（警告を含む）』を促す内容であることを告げるものです。△の中に具体的な注意の内容が描かれています。（左の絵表示は「レーザー光をのぞきこまない」ことを意味します。）
- ⊙記号はしてはいけない『禁止』の内容であることを告げるものです。⊙の中や近傍に具体的な注意の内容が描かれています。（左の絵表示は「分解を禁止する」ことを意味します。）
- 記号は必ず実行していただく『強制』の内容を告げるものです。●の中に具体的な注意の内容が描かれています。（左の絵表示は「使用者の行為を指示する」ことを意味します。）

警告	
	レーザー光をのぞきこまない 長時間直視すると、レーザー光によって目に傷害が起こるおそれがあります。
	本機の分解や改造はしない お客様による分解、改造、修理は安全を保証できません。乾電池が破損したり、発熱や破裂のおそれがあります。
	本機の内部には触らない 故障の原因になったり、感電のおそれがあります。
	水場では使用しない 風呂場、シャワー室などでは使用しない。水にぬれると、火災、感電、故障の原因となります。
	本体、ケーブルをぬれた手で触らない、抜き差ししない 感電のおそれがあります。

(4 ページの続き)		注意
	禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・熱のこもる場所 / 水分や湿気の多い場所 ・ダッシュボードやトランク、夏の閉めきった自動車内 ・傾いたぐらついた台の上や不安定な場所 ・高温多湿な場所
	禁止	本機の上に重いものを置かないでください 置いたものがバランスをくずし倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
	一般注意	表示部について <ul style="list-style-type: none"> ・液晶ディスプレイ（LCD）の内部は、刺激性物質が含まれています。万一、破損して内部の液が皮膚に付着したり、目に入ったときは、傷害を起こすおそれがあります。きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。 ・万一、破損した場合、ガラスの破片で手などを切らないよう注意してください。
	一般注意	周辺装置や通信機器と接続する場合は付属の説明書をよく読む 接続時は、機器の取扱説明書をよく読んでください。本体の電源を切り、説明にしたがって正しく接続してください。また、接続は指定の接続コードやケーブルを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意（必ずお守りください）

	禁止	本機の取り扱いの際は、次のことに気をつける <ul style="list-style-type: none"> ・強い衝撃を与えたり、落としたりぶつけたりしない。 ・結露した状態で使用しない。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になります。
	禁止	テレビやラジオなど、強い磁界を発生するもの近や、静電気の発生しやすい所で使用しない 機器本体の動作に悪影響を与えることがあります。
	禁止	異なる種類の電池を混ぜて使用しない 主電池（単3形マンガン乾電池、ニカド充電電池は使用できません）は必ず同じ種類のものを使用してください。異なる種類の電池を混ぜて使用すると、液漏れで製品が腐食したり、故障の原因となります。

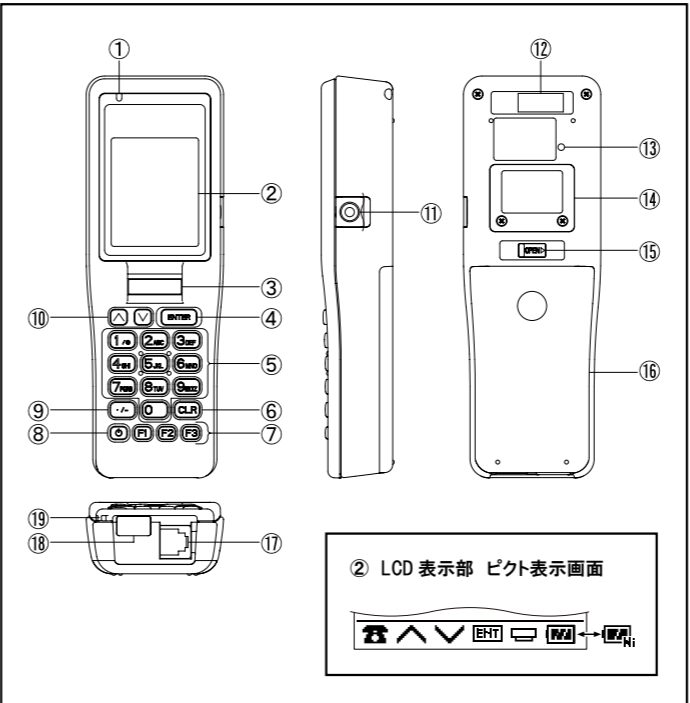
同梱品の確認

お買い上げいただいた本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認のうえ、万一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店、または弊社までご連絡ください。

- 本体、ユーザズガイド（本書）、副電池（本機に搭載済み）

各部と操作キーの名称、機能

各部と操作キーの名称と機能について説明します。



	一般注意	大切なデータは定期的にバックアップする <ul style="list-style-type: none"> ・お客様または第三者が本機を誤使用あるいは使用中の故障、電池寿命などにより記憶されたデータが消えたり、変化したことによる損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いません。 ・本機内部のメモリは、主電池や副電池が消耗したままの状態、主電池が取り外された状態で副電池を外した場合、電池交換が正しくおこなえないと電源供給されず、内部データが消えてしまったり、変化してしまうことがあります。1度消えたデータは元に戻すことはできませんので、大切なデータは必ずバックアップ（コピー）しておいてください。
	一般注意	機器の接続時や掃除の際は、電源を切る 周辺機器や通信機器の接続や電池交換するとき、あるいはお手入れなどの際は、本体の電源が切れていることを確かめてください。
	一般注意	長時間使用しないときは 長時間（1週間以上）使用しないときは、副電池の消耗を防ぐために、主電池を新しいものと交換しておきます。ご使用の際は、再度新しい乾電池と交換します。
	一般注意	機器が動作しなくなった場合は速やかに電池を交換し、地域で定められた条例にしたがって処理する 電池からの液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れ

	感電のおそれがありますので、お手入れの際は、電源を切ってからおこなってください。
	表示部の汚れはやわらかい布で拭き取ってください。アルコールやシンナー、あるいはベンジンなどの有機溶剤、研磨剤を含む洗浄剤は本体表面を变色させたり、溶かすことがありますので絶対に使用しないでください。
	本機表面の汚れはやわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

	禁止	本機の内部に異物を入れない 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、お買い上げになった販売店にご連絡ください。そのまま使用するとショートや発熱により、火災・感電の原因となります。
	禁止	歩行中または運転中に操作しない 歩行中や運転中に操作すると転倒や交通事故などの原因になります。
	一般注意	破損した場合は 万一、本機を落としたり破損した場合は、電源スイッチを切り、お買い上げになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	強制	指定以外の電池は使用しない 破損や発熱、破裂の原因となりますので、次の点をお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> ・分解や改造しない。飛散漏液が目に入ると失明するおそれがあります。 ・火中に投入しない。加熱や高温の場所（80℃以上）で使用、放置しない。 ・水や海水などにつけたり、濡らさない。 ・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。投げつけたり強い衝撃を与えない。 ・外傷や変化、変形したものは使用しない。 ・漏液したり、異臭がする場合は火気から遠ざける。 ・両極（＋と－）をショートさせると、過電流により寿命が短くなります。 ・消耗したまま、使用し続けると液漏れで機器が破損するおそれがあります。 ・ボタン電池は小さなお子様が誤って飲み込むおそれがあります。手の届かない場所に保管ください。

注意		
	禁止	本製品を次のような場所で使用・保管しない 誤動作や故障、火災や感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・風呂場や調理台、加湿器の近く等水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所 ・ほこりが多い場所 ・衝撃や振動が加わる場所 ・不安定な場所 / 落下の可能性がある場所 ・磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカー、温風式こたつなど）の近く ・長時間直射日光があたる場所 / 暖房器具の近く ・テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く

No.	名称	機能
1	読取 / 操作 LED	バーコード読み取り、通信などの動作状態を表示します。
2	LCD 表示部	文字やプログラム実行時の内容を表示します。本機の状態や警告を絵文字（ピクト）表示します。
	ピクト表示画面	各ピクトは、以下の状態を示します。 主電池のピクトについては、電池の種類によりどちらかを表示します。 モデム通信中 △（上）、▽（下）キーガイダンス ENTER キーガイダンス 副電池（リチウムボタン電池）低電圧 主電池（アルカリ乾電池）電圧レベル 主電池（ニッケル水素電池）電圧レベル
3	トリガキー	バーコードを読み取ります。 表示部（LCD）のコントラスト（濃淡）を調整します。トリガキーを押しながら、【△】キー（濃く）または、【▽】キー（淡く）を押します。
4	ENTER（エンター）キー	入力や選択を確定します。
5	数値キー	数字（0～9）、英字（A～Z）、記号（/、@、:、.、_）を入力します。
6	CLR（クリア）キー	入力、設定をキャンセル（解除）します。
7	ファンクションキー	F1～F3 は機能を割りあてます。
8	電源（電源）キー	電源を入 / 切します。
9	/- キー	小数点（.）、ハイフン（-）等の記号を入力します。
10	△（上）▽（下）キー	カーソルの移動、項目を変更します。
11	シリアルコネクタ	RS232C シリアルインタフェースコネクタを接続します。
12	バーコードスキャナ	レーザー光を照射して、バーコードを読み取ります。
13	ブザー鳴動口	ブザーの鳴動口です。
14	副電池カバー	メモリバックアップ用のボタン電池が収納されます。
15	電池カバーロック	主電池カバーを ◀LOCK（閉）、▶OPEN（開）します。
16	主電池カバー	主電池（2 個）が収納されます。
17	モジュラージャック（モデム搭載機種のみ）	モジュラーケーブルで電話回線と接続します。
18	赤外線インタフェース	プリンタ等の赤外線インタフェースと通信します。
19	ハンドストラップ取付穴	ハンドストラップを取り付けます。

ご注意

・キーの動作はアプリケーションにより、異なる場合があります。

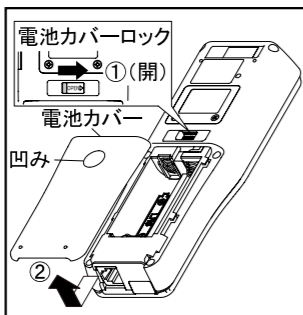
主電池の取り付け

ご使用前に主電池（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）を取り付けます。（主電池は別売です。）

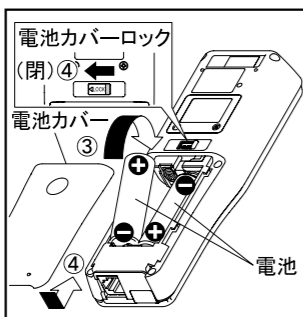
ご注意

- ・ や は、電池残量が空（ロー）です。速やかに交換してください。
- ・主電池の交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入ったまま取り外すとメモリーデータが消えてしまうおそれがあります。
- ・主電池と副電池（バックアップ用）は同時に外さないでください。同時に外すと、データが消去されてしまいます。
- ・使用済みの電池は、各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- ・電池の種類を変えた場合は、バッテリータイプ選択の設定を変更してください。

- ① 電源が切れていることを確認します。本体裏側の電池カバーロックを OPEN ▶ 側（開）にスライドします。



- ② 電池カバーの凹みを押さえて止まるまで下方へスライドします。フックが解除されたら、手前に外します。



- ③ 電池の方向（＋と－極）を確かめ、電池の（－）側から入れます。

- ④ 電池取り付け後、逆の手順で電池カバーを閉じ、電池カバーロックを ◀ LOCK 側（閉）にスライドします。

ご注意

- ・電池カバーが確実に取り付けられていないと水気などが浸入し破損原因になります。
- ・表示部に主電池の または ロワーバッテリーマークが表示されたら、上記の逆の手順で新しい電池と交換してください。

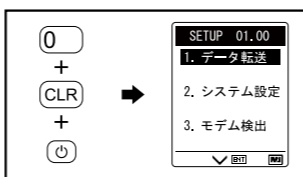
バッテリー（主電池）タイプの選択

電池残量を正しく（ローバッテリーマーク）表示するため、使用する電池の種類（単 3 形アルカリ乾電池 またはニッケル水素電池）に合わせて、バッテリータイプを選択してください。

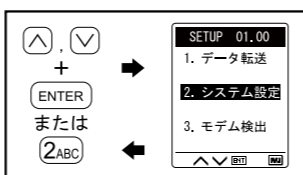


工場出荷時は、アルカリ乾電池が選択されています。

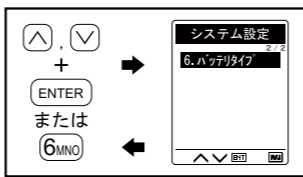
- ① セットアップツールプログラム起動のため、操作キーの [0] と [CLR] を押しながら、（電源）キーを押します。ブザーが鳴ったら、キーから手を離します。



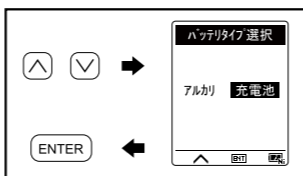
- ② 【SETUP】画面が表示されたら、[2] キー、または [△] [▽] キーで [2. システム設定] を選択し [ENTER] キーを押します。



- ③ 【システム設定】画面が表示されたら、[6] キー、または [△] [▽] キーで [6. バッテリータイプ] を選択し [ENTER] キーを押します。



- ④ 【バッテリータイプ選択】画面が表示されたら、[△] [▽] キーで [アルカリ] または [充電電池] を選択し [ENTER] キーを押します。



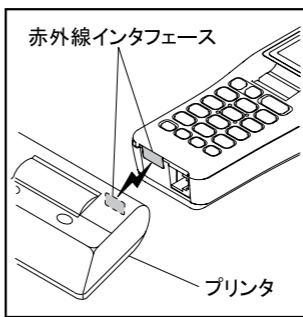
ご注意

- ・本設定は電源を切っても保持されます。
- ・[CLR] キーを押すと前画面を表示します。

通信について

● 赤外線通信

IrDA Ver. 1.2 に準拠した赤外線通信で同等のインタフェース搭載機器と底面の赤外線インタフェースを通してデータ送受信できます。

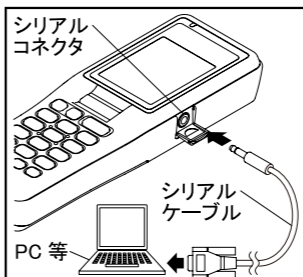


ご注意

- ・機器の赤外線インタフェース間に障害物があると通信ができなくなります。通信完了まで、赤外線インタフェース間に障害物がないようにしてください。
- ・直射日光やインバータ蛍光灯、強い照明下、テレビ等リモコン操作中は通信できない場合があります。

● RS232C シリアルインタフェース

右側面のシリアルコネクタに専用通信ケーブルを接続して通信機器などと通信することができます。

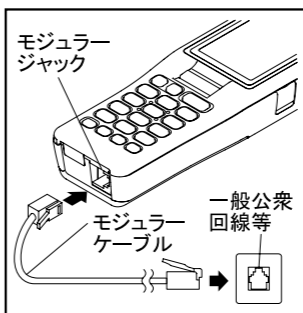


ご注意

- ・ケーブル接続後、機器の電源を入れてください。
- ・通信設定（通信速度、プロトコルなど）や通信方法を確かめてください。

● モデム（モデム搭載機種のみ）

底面のモジュラージャックに 6 極 2 芯のモジュラーケーブルを接続して NTT のアナログ一般公衆回線で通信できます。



ご注意

- ・雷が発生しているときは電源を切り、モジュラーケーブルを外してください。
- ・接続する回線や回線種別、通信設定を確かめてください。ビジネスホン、ホームテレホン等の 6 極 4 芯モジュラーケーブルを接続した場合、故障するおそれがあります。

主な仕様

項目	仕様	
CPU	32bit RISC	
メモリ	FROM	2MB
	SRAM ※1	4MB/8MB モデル
表示	表示方式	FSTN 型モノクロ液晶
	ドットサイズ	0.23 × 0.23mm
	表示能力	128 (横) × 160 (縦) ドット
	文字数	16 ドットフォント: 全角 8 桁 × 8 行 (ビット表示無) 半角 16 桁 × 8 行
	文字	ANK/漢字 JIS I・II ※2
	バックライト	LED (白色)
入力装置	キー数	20 キー: テンキー、 (電源) キー、 V キー、 エンターキー、 クリアキー、 /- キー、 ファンクションキー、トリガキー
インタフェース	RS232C	Φ 3.5 ステレオミニジャック
		通信方式 全 2 重 同期方式 調歩同期 伝送速度 300 ~ 115200bps
	モデム (オプション) ※1	6 極 2 芯 モジュラーケーブル
		V.90/K56 flex 通信方式 全 2 重 同期方式 調歩同期 伝送速度 2400 ~ 56000bps
IrDA	赤外線インタフェース IrDA Ver. 1.2 準拠 (距離 20cm) 通信方式 半 2 重 同期方式 調歩同期 伝送速度 9600 ~ 115200bps	
スキャナ	種類	レーザー
	読取コード	JAN-13/-8、EAN-13/-8、UPC、CODE39、NW7、CODE93、CODE128、ITF、DTF、GS1 Databar
	分解能	0.15mm
	読取距離	50 ~ 350mm 以内

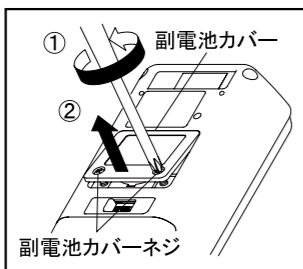
副電池（リチウムボタン電池）の交換

表示部に マークが表示されたら、副電池「CR2032 (3V)」を交換してください。

ご注意

- ・副電池の交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入ったまま取り外すとメモリーデータが消えてしまうおそれがあります。
- ・主電池と副電池（バックアップ用）は同時に外さないでください。同時に外すと、データが消去されてしまいます。
- ・使用済みの電池は各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- ・電池表面が汚れていたり濡れている場合は、よく拭き取ってから取り付けください。
- ・副電池を直に触らないでください。指の皮脂等により汚れて接触不良の原因となります。

- ① 電源が切れていることを確認します。本体裏側、2 個の副電池カバーネジをゆるめます。（ネジは副電池カバーから外れないようになっています。）



- ② 本体を逆さまにすると副電池カバーの手前が浮きます。奥側のフックを解除し副電池カバーを外します。

- ③ 副電池収納部の溝に先の細いもの（-ドライバーなど）を差し込んで外すか、逆さまにすると副電池が取り出せます。



- ④ 新しい副電池（リチウムボタン電池）の (+) 極を上側にし、奥側に滑り込ませるように入れます。収納部に隙間が無いか確かめてください。

- ⑤ 副電池カバーのフック部を先に入れ取り付けます。2 個のネジを締めます。

ご注意

- ・副電池カバーがきちんと取り付けられていないと水気などが浸入し故障の原因になります。

バーコードの読み取り方

レーザーを照射して、バーコードを読み取ります。

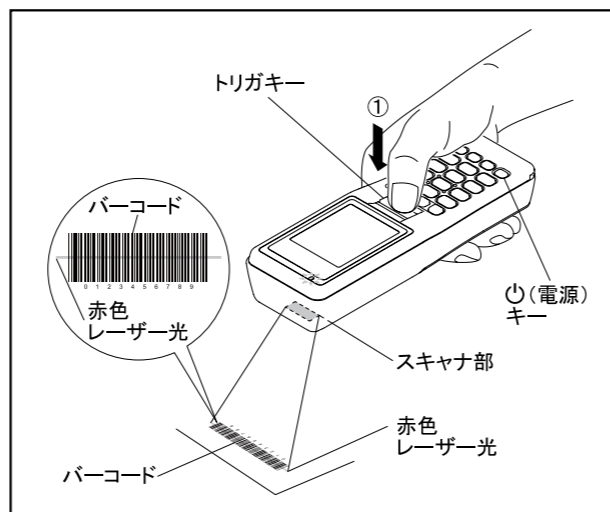
- ① キー（電源）を押して電源を入れます。所定のアプリケーションが起動後、スキャナ部をバーコードに向けて、トリガキーを押します。

ご注意

- ・バーコードが読み取れないときは、レーザー光の照射角度や距離、向きを調整し、再読み取りしてください。
- ・通常の明るさで 5 ~ 35cm 以内の読み取りが可能です。

レーザー仕様

項目	特性
光出力	< 1.0mW
発光波長	645 ~ 660nm
安全規格	クラス 2



(14 ページ「主な仕様」の続き)

電源※3	動作※4	単 3 形アルカリ乾電池 (2 本)、動作時間 約 150 時間
		ニッケル水素電池 (2 本)、動作時間 約 100 時間
	バックアップ	リチウム電池 (3V) (1 個) 1 年 (25°C 環境) (CR2032 交換可能)
その他 (機能)	操作表示 LED	緑 / 赤
	時計	カレンダー
	アナウンス	ブザー (音量 3 段階)、パイプレータ
サイズ	外形寸法	152 (L) × 52 (W) × 27 (H) mm
	質量	約 185g (電池含む)
環境条件	動作	0 ~ 40°C、20 ~ 80% (未結露)
	保存	-10 ~ 50°C、20 ~ 90% (未結露)
耐落下	1.5m ※5	
別売品※6	主電池 (アルカリ乾電池 2 本)、ハンドストラップ、モジュラーケーブル	

ご注意

※1: 各モデルの SRAM、モデム搭載は、以下の表を参照ください。(○=搭載)

モデル	ARK-550MN	ARK-550M	ARK-550LN	ARK-550L
SRAM	4M	4M	8M	8M
モデム	-	○	-	○

- ※2: 文字は英字、数字、カナ、記号、漢字第 1 水準、漢字第 2 水準表示可能。反転文字など操作プログラムをより視覚的に向上させることが可能。
- ※3: 単 3 形マンガン乾電池やニカド充電電池は使用できません。
- ※4: 当社基準による試験値であり、使用する電池や環境条件により異なります。25°C で 10 秒間に 2 回のバーコードスキャンをおこなった場合 (バックライト OFF)
- ※5: 当社基準による試験値であり落下による故障、またはデータ損失しないことを保証するものではありません。
- ※6: 別売品および電池などの消耗品は当社推奨のものをご使用ください。本機の性能を発揮させるために当社推奨の消耗品や別売品を使用されることをお勧めいたします。推奨品以外のものを使用された場合、本体の機能を十分発揮できない場合があります。

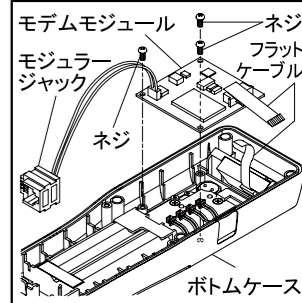
- 仕様や外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

付録（モデムモジュールの取り外し）

ご注意

- ・破損を招くおそれがあるので、モデムモジュールの取り外し / 取り付けは作業に熟知した方以外おこなわないでください。作業により本機を破損した場合は責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・作業は精密ドライバー (+) が必要になります。あらかじめご用意ください。
- ・電子部品は静電気により破壊される場合があります。本作業を始める前には、未塗装の金属物などに触れ、体内にたまった静電気を放電するようにしてください。
- ・基板や LCD、フラットケーブル (FFC) などは部品や配線を傷めないよう、縁や接点の無い部分を持ってください。また、コネクタやケーブルは方向を間違えないよう接続してください。
- ・作業に関係のない箇所には触れないでください。また、内部に異物などを置き忘れたり、ケーブル等を挟み込まないでください。
- ・モデムモジュールは指定のもの以外使用しないでください。

- ① (電源) キーを押して電源を切ります。主電池を外します。
- ② 6 個のネジを外しトップケースとボトムケースを外します。2 個のネジ、フラットケーブル、コネクタを外しメイン基板、LCD を外します。
- ③ 3 個のネジとフラットケーブル、モジュラーケーブルを外してボトムケースからモデムモジュールを外します。



[内蔵モデム] 認証機器: NC21561-014 / 認証番号: A05-0252005

ALF ARK-550 ユーザーズガイド
株式会社アルフ
〒155-0032 東京都世田谷区代沢 3-6-11
TEL: 03-5432-7170 FAX: 03-5432-7172
ホームページ <http://www.alf-net.co.jp>